

クリーンキャンペーン古都なら 奈良県代協、今年で15回目



清掃活動に約130名が参加(JR奈良駅前)

奈良県代協(平尾武士会長)は、10月31日に「クリーンキャンペーン」の社員ら約130名が参加した。中には、親子、孫と三代が参加した会員もいた。

まず、平尾会長が「今日は代協の会員や保険会社から多くの人たちが参加いただきありがとうございます。クリーンキャンペーンに参加するということ意識を持ってもらうことが大事です。一人ではできないCSR活動も、みんな



子どもも一生懸命清掃

が集まってやることに意義があります」と挨拶。日本代協と背中書いたまどりのジャンパーを着て、用意されたごみはさみとごみ袋を手袋をした手に持ちながら、市内三条通りから興福寺境内を経て春日大社一之鳥居付近までを清掃。

週末の観光地で、しかも奈良国立博物館では正倉院展を開催していることもあり、観光客が多く訪れていた。三条通りでは女の子が

球磨川河川敷で10年以上清掃

熊本県代協・八代支部

熊本県代協の八代支部は、10月18日、球磨川河川敷の清掃活動を実施した。同県八代市の恒例行事である「やつしろ全」国花火競技大会の翌日、朝に、代協の社員や関係者の家族などが清掃活動をする

歩道に植えてある木の根っこにあるごみを一生懸命探っていた光景も見られた。清掃は順調に進み、約1時間で終了。戻って渡された。

われた代理店が多いたものの、清掃活動には17名が参加した。参加した代協会員は「まだまだゴミのマーナーがよくない人たちもいるのが実情だが、こうした清掃活動を通じて地域貢献ができるので代協会員としては喜んで参加している」と話した。



子どもたちも清掃活動に参加